

令和7年度（第64回）農林水産祭

「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」（トップリーダー発表会）

【森林サービス産業の推進による都市近郊での新たな林業経営】

《スケジュール》

13:30~16:00

（敬称略）

- | | | | | |
|---|---|----------|---|-------|
| 1 | 開 | 会（13:30） | 公益財団法人 日本農林漁業振興会 常務理事 | 小栗 邦夫 |
| 2 | 挨 | 拶 | 農林水産省大臣農林水産技術会議事務局研究推進課
技術政策情報分析官 | 島津 久樹 |
| 3 | 選 | 賞審査報告 | 農林水産祭中央審査委員会林産分科会主査
（筑波大学名誉教授） | 田中 浩 |
| 4 | 業 | 績発表 | 令和6年度農林水産祭林産部門天皇杯受賞
株式会社T-FORESTRY 代表取締役 | 辻村 百樹 |

・・・休憩（14:30~14:40）・・・

- 5 ディスカッション（14:40）
（登壇者）
- ・コーディネーター
田中 浩（3に同じ）
 - ・業績発表者
辻村 百樹（4に同じ）
 - ・コメンテーター
葛城 奈海（農林水産祭中央審査委員会林産分科会委員
（ジャーナリスト））
平野 悠一郎（国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所
多摩森林科学園主任研究員）
鈴木 毅人（株式会社T-FORESTRY総括マネージャー）
豊永 洋子（神奈川県西地域県政総合センター森林部森林保全課副技幹）

（内容）

- ・意見交換、質疑応答
- ・総括

- 6 閉 会（16:00）

令和7年6月5日（木）@フェニックスホール
農林水産祭「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」
【森林サービス産業の推進による都市近郊での新たな林業経営】

選賞審査報告

農林水産祭中央審査委員会林産分科会
主査 田中 浩
(公財) 国際緑化推進センター

農林水産祭とは

国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業者の技術改善及び経営発展の意欲を高めるため、農林水産省と（公財）日本農林漁業振興会の共催により、昭和37年から国民的な祭典として実施している顕彰制度で、令和6年度は63回目、本年度は64回目

★ 農林水産祭選賞部門

- ① 農産・蚕糸 ② 園芸 ③ 畜産
- ④ **林産** ⑤ 水産 ⑥ 多角化経営
- ⑦ むらづくり * 女性の活躍

★ 選賞区分

天皇杯、内閣総理大臣賞、日本農林漁業振興会会長賞

* 女性の活躍については内閣総理大臣賞と日本農林漁業振興会会長賞

* 天皇杯を賜る顕彰はスポーツ関係以外では農林水産祭のみ

令和6年度林産部門の選賞審査対象

★ 対象者：令和6年度農林水産祭参加行事での
農林水産大臣賞受賞者

★ 対象出品財数：47点（参加行事数 23行事）

【出品財別内訳】

- ・ 経営（林業経営） 8点
- ・ 技術、ほ場（苗ほ等） 7点
- ・ 産物（木材、きのこ、木炭等） 32点

選賞審査の上で考慮する点

農林水産祭参加表彰行事における「産物」「技術・ほ場」「経営」「女性の活躍」等に求められる審査基準に加えて次の点を考慮の上、選賞審査を慎重に行う。

- ① 出品財の性質・内容が抜群で、**広く社会の賞讃に値する**ものであること。
- ② 出品財の基礎をなす**技術及び経営が特に優秀**であること。
- ③ 出品財が**農林水産業の近代化と産業的発展に役立つ**ものであること。
- ④ 出品財が**地域社会に貢献する**ものであること。
- ⑤ 出品財について、**人物、団体等が健全である**こと。

第63回農林水産祭林産部門の選賞経過

★ 選賞経過

- ・ 令和6年7月23日 第1回林産分科会を開催
(書面及び合議審査により現地調査対象3候補財を選定)
- ・ 令和6年8月7日、21日、22日に現地調査を実施
- ・ 令和6年8月28日 第2回林産分科会を開催
(現地調査報告の上、合議審査により三賞候補財を決定)
- ・ 令和6年10月1日 中央審査委員会第2回総会を開催
(合議審査により三賞受賞者を決定)

★ 選考委員

(委員) 田中 浩 (主査)、葛城奈海、丹下 健

(専門委員) 伊藤幸男、久保山裕史、興梶克久、
坂野上なお、山崎靖代、吉本博明

(配属専門委員) 山本信次

以上10名

令和6年度林産部門の三賞受賞者

★ **天皇杯** 株式会社 T-FORESTRY（代表 辻村 百樹）
（神奈川県小田原市）経営（林業経営）

森林サービス産業の推進による
都市近郊での新たな森林経営



★ **内閣総理大臣賞** 惣田 政宏
（北海道広尾郡広尾町）技術・ほ場（苗ほ）

高い技術力と漁業関係者との協働による
トドマツ、カラマツの優良な苗木生産



★ **日本農林漁業振興会長賞** 山田 芳朗
（静岡県静岡市）経営（林業経営）

認証森林での高密度路網と車両系林業機械の
活用による高収益な林業経営



令和6年度天皇杯受賞者

株式会社T-FORESTRY代表 辻村百樹 略歴

(1) 履歴

昭和31年 9月12日生まれ

昭和54年 いすゞ自動車(株)入社 商品企画、宣伝、広報、
アメリカ駐在等を歴任

平成19年 神奈川県と山梨県で江戸時代から続く
山林・農園を継承（8代目）

平成22年 株式会社T-FORESTRYを創設し、山林経営と共に
フォレストアドベンチャー、フォレストバイクなど
の多目的森林活用を展開

令和 5年 環境省自然共生サイト認定（後期）

(2) 表彰歴

令和 6年 国土交通省自転車活用推進功績者表彰

辻村百樹氏 評価のポイント①

★ 受賞者の取組の経過と経営の現況

受賞者が管理運営する森林は、江戸時代に商家であった同社代表の辻村氏の祖先が小田原藩に金銭面で貢献した功績により与えられた、藩有林の永代管理権を承継したものである。

当該森林は、現在65年生以上のスギ、ヒノキの人工林が主体であり、林齢300年を超えるスギ林もある。

伐採後の植林、保育による支出を考慮すると収益が見込めず、一時的に主伐を休止し、森林組合に施業委託をして間伐を行っているが、森林を余暇のための活動空間として活用することを発案し、平成22（2010）年2月にT-FORESTRY社を設立した。

同社が運営する森林空間活用サービス施設「フォレストアドベンチャー」は、年間2万人が訪れる人気スポットに成長している。

辻村百樹氏 評価のポイント②

★ 受賞者の特色

＜高齢級の森林を活用した森林サービスを展開＞

フォレストアドベンチャーは、1 ha の森林内で地上から高さ10～22mの木々の間に張られたワイヤーをジップスライド（空中滑空）や樹間歩行をしながら森林内を巡ることができる施設である。

加えて平成30（2018）年からは、2.5ha の森林内で既設の路網を活用したマウンテンバイク用のコースを10 種類、総延長2.5km を整備し、「フォレストバイク」の事業も開始した。

こうした森林空間を活用したサービスの提供により、ファミリー層と若者グループ層を中心とした集客に成功している。

★ 普及性と今後の発展方向

同社は、令和6（2024）年3月にフォレストアドベンチャーをリニューアルオープンした。アドベンチャーコースを変えるなどリピート客を飽きさせない工夫と、林内の枯損木・危険な枝の除去等安全性の確保を絶えず行っている。

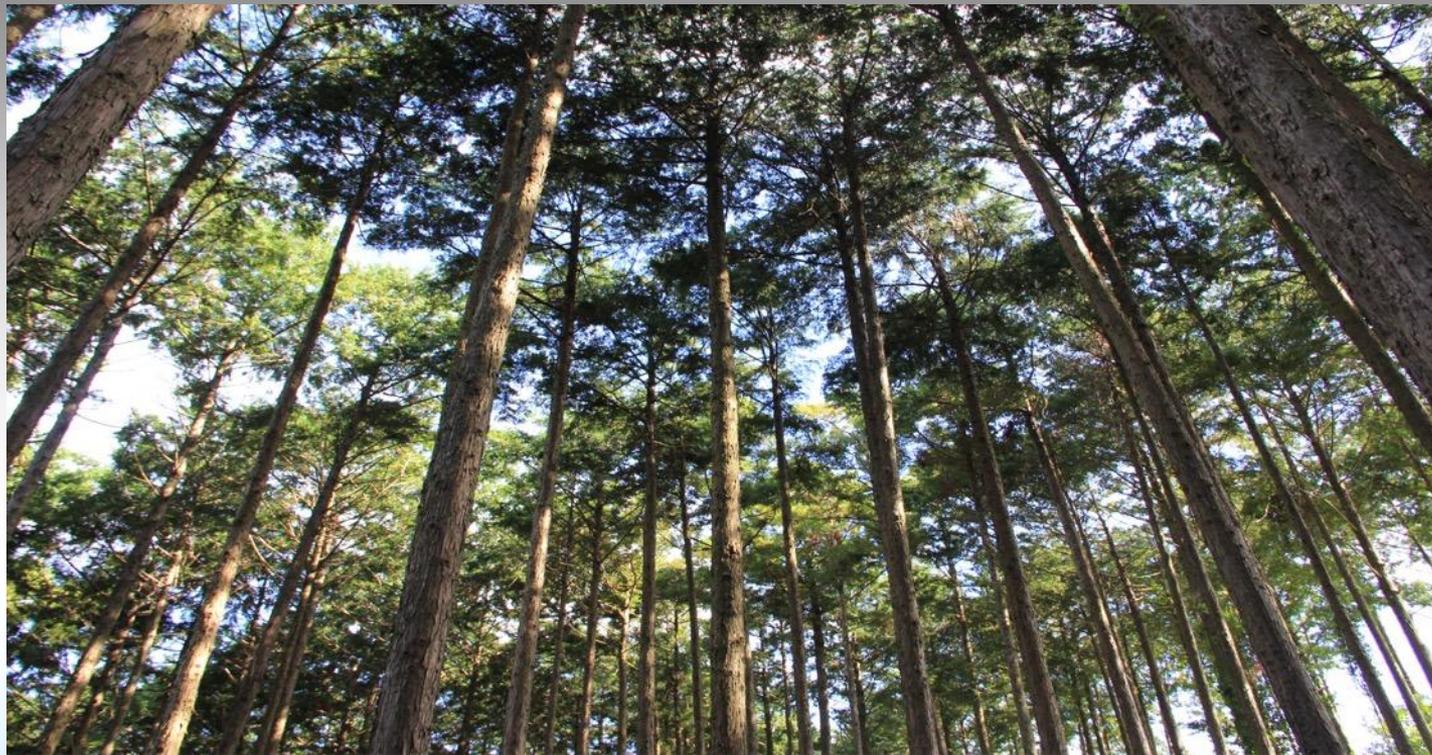
また、同施設は立木をそのままの状態を活用しており、設備を撤去するだけで以前のような森林に戻すことも可能である。

高齢級の森林資源、立地等に適応した森林空間活用サービス施設の設置により、森林空間を活用するという手段で資金を獲得してそれを森林管理に充てることにより、代々育んできた森林を後世に引き継ぐ取組を進めている。

「フォレストアドベンチャー」「フォレストバイク」 「ハンターバンク」を組み込んだ新しい森林経営



森を育てるという事



森を育てるという事

大気循環と水脈形成

森は全てのエネルギーの根源

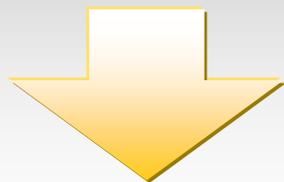
動物、鳥、昆虫の生きるフィールド



自然と人間との共生

森を育てるという事

- ・人工林育成には長い時間を掛けた保守が必要。
- ・地拵え植林⇒下草刈⇒除伐⇒間伐⇒間伐⇒本伐
標準で50年から90年。



時間の経過スパンが非常に長い

時代背景、経済環境の変化に翻弄される

森を育てるという事

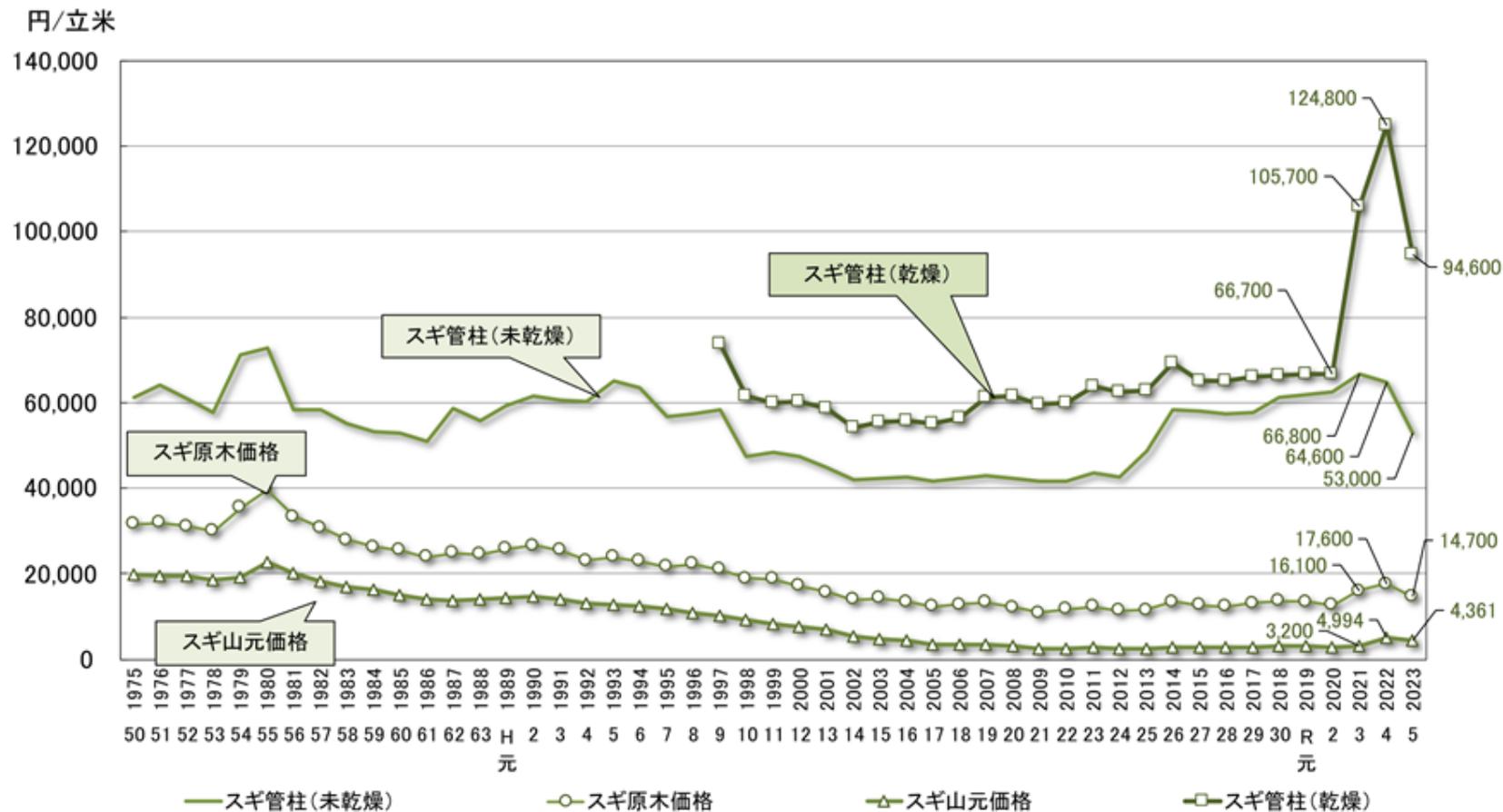
・江戸⇒明治⇒大正⇒昭和⇒平成⇒令和
一本の木が成長する年月に過ぎない

・対価
昭和37年の水準に下落。人件費は20倍

コスト算入基準が現実経済とは乖離

木の需要変化を育林制御にリンク困難

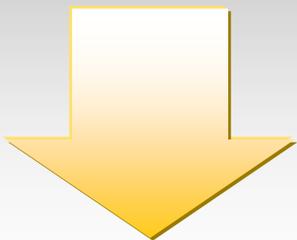
スギ原木価格、山元価格



出典: 製材品価格、原木価格は、農林水産省「木材価格統計」より。山元立木価格は日本不動産研究所公表資料より Office YAMADA Inc.

森を育てる事

木材生産の限界
持続可能な林業の崩壊
木材生産林業からの脱却



里山の役割の再考
長大な時間軸を踏まえる
新しい時代のニーズ発掘



里山のミツシヨン



素材の生産

里山のミッション- I

- 木材 → 天然林・人工林・庭園木
- 果実 → 梅・柑橘・ベリー・銀杏
- 農作物 → 筍・茶・野菜
- 花卉 → 園芸・鉢物

エネルギーの創出

里山のミッション - II

○木質エネルギー

昭和中期迄は材木・枝・葉・実・枯草全てを消費

➡薪炭・ペレット

➡バイオマス発電に活路。

○水資エネルギー

飲料水の外、水車、発電に利用。

➡小水力発電の復活

○太陽光エネルギー

➡遊休地にてソーラー発電所稼働。

生態系の保全

里山のミッション - Ⅲ

- 生物多様化
植生の適正化
- 鳥獣被害の対応
適正捕獲 食物連鎖の適正化
- 豊富な自然餌
木の実、果実の繁茂

余暇の提供

里山のミッション - IV

歩・走・登・降・飛・滑
乗・探・眺・休・癒・寝
究・闘・食・飲・笑・泣
育・怒・和・跳・蹴・転
安・恐・弾・耕・摘・穫

フォレストアドベンチャー・小田原

- ☆里山の新しい活用（2010年開設）
 - ☆自然の森の地形と樹木をほぼそのまま活用
 - ☆ハーネス着用により安全確保
 - ☆体力・知力・判断力・行動力・防御力を高度にミックス
 - ☆恐怖心を克服しながら、高い満足感を得る仕組み
-
- ☆林床と立木への負担を最小限にするレイアウト
 - ☆木に過度な負担がかからない施工方法
 - ☆電気等の動力は不要
-
- ☆アトラクションとワイヤーを撤去すれば、元の森に戻る

フォレストアドベンチャー・小田原

コース概要

ジップトリップコース 対象:小学1年生以上

用地面積:1ha 9サイト(木に登り⇒渡り⇒滑る)38アクティビティ

所用時間:1時間半~2時間

料金 :4,000円

キッズコース 対象:概ね2歳~8歳(身長90cm以上)

用地面積:500㎡

所用時間:45分間(時間制)

料金 :2,000円

年間入場者実績

21,000人



フォレストバイク・小田原

- ☆里山の更なる活用（2018年開設）
- ☆自然の森の地形と樹間をほぼそのまま活用
- ☆マウンテンバイクの基礎の習得（走る・曲がる・止まる）
- ☆体力・知力・判断力・持久力・マナーを高度に育成
- ☆ファミリーで楽しむ新たなマウンテンバイクの世界感醸成

- ☆雨水管理を盛り込んだコース建設による林内表層維持
- ☆森林管理路、トレランコース等複合使用
- ☆獣（鹿・猪）の里山への進入を威圧防御（人と獣との緩衝帯）

- ☆森の穏やかな活用



フォレストバイク・小田原

コース概要

用地面積: 1ha トレイルコース、パンプトラック、ジャンプセクション

所用時間: 3時間～6時間

料金: 初回安全講習4,000円 フリーライド3,000円から

対象: 概ね4歳～70歳

年間入場者実績

5,000人



小田急ハンターバンク

ハンターバンクとは？

- ・狩猟に興味のある方と、獣害に悩む農林家繋ぐ会員制の
狩猟マッチングプラットフォーム

会員プロフィールは？

- ・自然との触れ合いを求める都市在住者
- ・初級ハンター、狩猟免許保有者
- ・ハンティング情報交換を求めるビギナー

特徴？

- ・直ぐに始められる ⇒ 会費に罾・狩猟具・保険等が含まれ参入が容易
- ・週末狩猟が叶う ⇒ 平日▷カメラ確認 週末▷止め刺し、解体、ジビエ獲得
- ・狩猟基礎学習 ⇒ プロから3か月で獣害被害対策の基礎を学習



現在の辻村農園・山林

総面積 ●約80ヘクタール(25万坪)

用途 ●山林 杉、桧の人工林 ⇒75%
広葉樹の自然林⇒ 5%

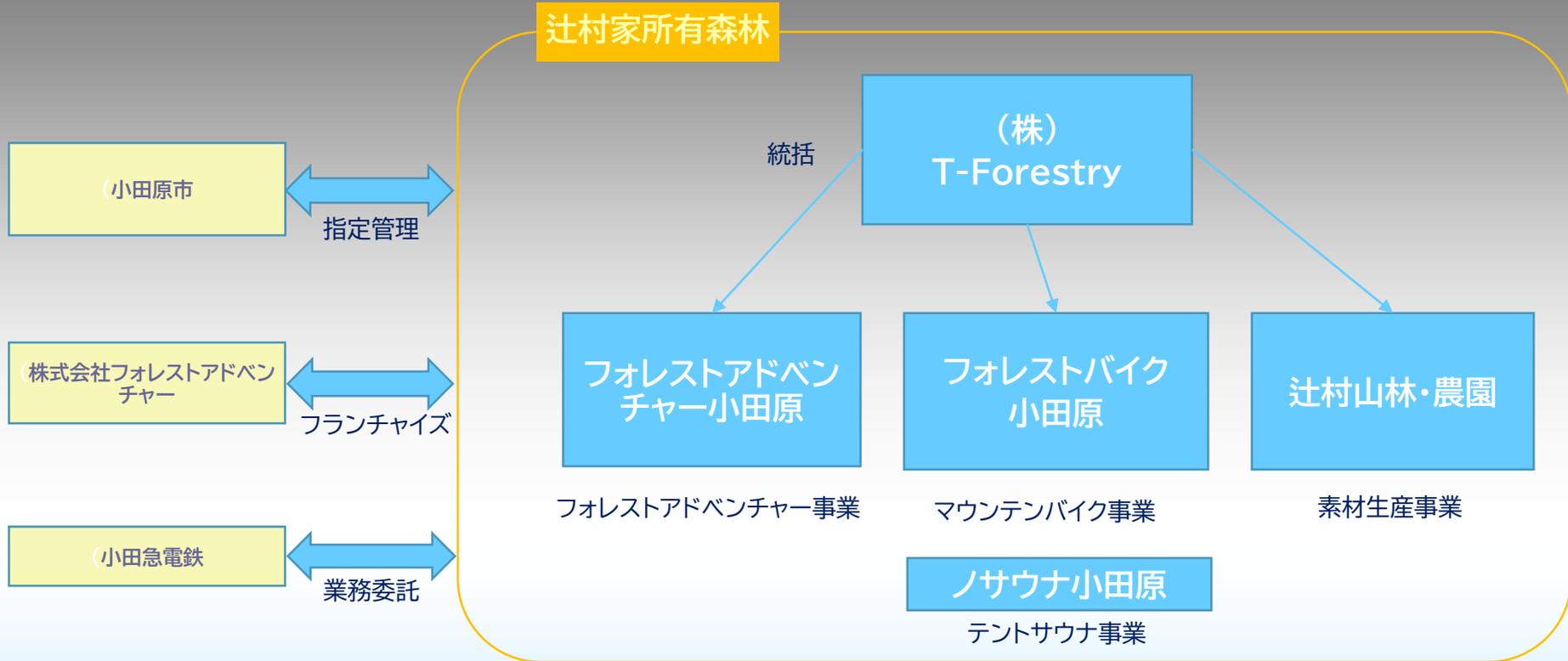
●農園 梅園 ⇒10%
蜜柑園⇒ 1%
竹林 ⇒ 1%

●エネルギー事業⇒ 4%
(メガソーラー発電所)

●余暇提供⇒ 4%
(フォレストアドベンチャー)
(フォレストバイク)



運営体制



～終わりに～

森づくりは世代を超えた永い取り組み
山を守る＝歴史の継承
森は悠久の産物
里山は地元の恵みの源泉